

## 彼方上地区の取組み状況について

議題資料3を併せてご参照ください。

### (1 ページ) 彼方上地区とは？

現在、公共交通サービスを検討している彼方上地区は、大字嬉、横山、伏見堂の区域で構成する「彼方上7町会まちづくり協議会」が主体となっており、合わせて724世帯（令和2年3月時点）です。彼方上地区は、40.4%（令和2年3月時点）と高い高齢化率となっており、地域公共交通を必要とする地区となっています。

### (2 ページ) 彼方上地区のこれまでの活動

彼方上地区のこれまでの活動でございます。平成29年度に本市から交通不便地域の各町会に、公共交通の勉強会の開催を呼びかけいたしましたところ、平成30年度に彼方上地区で公共交通の導入を検討していきたいとの返答がありました。これまでに3回の勉強会と1回の住民アンケートを実施しました。現在、試験運行に向けた協議を行っております。

### (3 ページ) 彼方上地区第3回勉強会の結果

令和2年1月19日に彼方上地区第3回勉強会を開催したところ、50名に参加して頂きました。勉強会では、地域公共交通システムを彼方上地区に導入することをワークショップ形式で検討して頂きました。利用促進について多くの意見が出され、彼方上地区の方々の積極性が見受けられました。

### (4 ページ) 運行ルート案について

第3回勉強会において出された意見を基に運行ルート案を示したものです。「滝谷不動駅～彼方上地区（北部）～汐ノ宮駅～彼方上地区（南部）～河内長野駅」間を往復する定時定路線。

運行車両は、セダン型又はワゴン型のタクシー車両1台で運行する。（試験運行時はセダン型のタクシー車両）

運行ダイヤは、2時間1往復で1日5往復、運賃は、100円～500円で運行経費を交通事業者と協議しながら決定する。

各町会内に1ヶ所停留所を設け、運行ルート内でのフリー乗降を可能とする。嬉桜ヶ丘地区、青山台地区においては、地区内を一周するルートとする。

今後は、本ルート案をベースに、関係する機関や団体と協議していき、まずは、試験運行をするにあたってのルートを決めていくものであります。

#### (5 ページ) 今後の取組みについて

今後につきまして、令和 3 年度中の試験運行に向け、各種協議を進めてまいります。なお、新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢及び経済状況により、今後のスケジュールが変更される場合がございます。

そのスケジュールといたしましては、令和 2 年度上半期（4 月～9 月）に河内長野市及び運行事業者と協議を行い、令和 2 年度下半期（10 月～3 月）に警察及び運輸局との協議、本市交通会議での協議を行うことを考えています。

各種協議事項として、河内長野市との協議事項は、河内長野駅前等の使用、既存公共交通機関との競合、河内長野市内関係者との調整。運行事業者との協議事項は、運行の安全確保、経費算出。警察との協議事項は、停留所の設置許可、運行の安全確認。運輸局との協議事項は、運行許可及びそれにかかる手続き、交通会議での協議事項でございます。

併せて、地域の皆さまには、利用促進の方法を検討して頂き、本市といたしましても、その支援をしてまいります。

以上